



How

2005 VOL.

24

男女共同参画社会をめざす情報紙

お弁当から男女平等？

中学校のお弁当タイム。あきらさんたちの班から楽しそうな話し声が聞こえてきます。

あきら「あっ、父さんが作ったお弁当、今日はおかずがカラフルだなー。」

えみ「えっ、あきらくんのお弁当、お父さんの手作りなの？」

あきら「うん。母さんの仕事が忙しい時は父さんが作ってくれるんだ。」

りえ「へえ、すごい。うちのお父さんもたまに料理することあるけど、お弁当なんて作ったことないよ。」

えみ「そういえば、この間テレビで見たけど、北欧では働く時間が短いから夫婦で一緒に夕ご飯を作ったりするらしいよ。そういうのっていいよね。」

てつや「働く時間が短いっていうのはいいなあ。仕事ばかりして、家でゆっくりする時間や自分の時間が持てないのはいやだし。」

りえ「そうだね。外国って働く時間だけじゃなくて女の人の生き方も違うと思わない？」

えみ「うんうん。ニュース見ていても、日本より外国の方が政治家の女の人多いような気がする。」

あきら「国によっていろいろだけど、日本よりは外国のほうが男はこう、女はこう…という考え方が少ないのかな。」

てつや「決めつけがないのはいいかもな。男だから理系とか言われるとアート系のほくとしてはつらいんだよ。」

りえ「つまり、男女平等ってこと？」

えみ「ねえねえ、外国ってその辺どうなっているのか調べてみない？ ねっ！」

りえ・てつや・あきら「そうだね。」

